

教授会議事要旨

日 時：平成26年5月13日（火）15時00分～16時00分

場 所：本館2階会議室

出席者：中野センター長、畑中、野海、保坂、青井、能町、與曾井、福田 各教授、民井、味村、緒方、藤田、井手口、石井 各准教授、王講師、嶋、外川、高久、依田、白鳥、梅原、鎌野 各助教

欠席者：大西准教授、堀田、鈴木、植田、菅谷 各助教

陪席者：佐藤助教、増田事務長、中澤庶務係長、芦田研究協力係長、富永会計係長

議事に先立ち、5月1日付けで着任した准教授から挨拶があった。

議 題：

I. 報告事項

1. 吹田地区部局長会議（4月16日）

メールにて事前報告済

2. 教育研究評議会（4月16日）

メールにて事前報告済

3. 部局長会議（4月16日）

メールにて事前報告済

4. 部局長懇談会（4月16日）

メールにて事前報告済

5. 学術研究機構会議（4月21日）

メールにて事前報告済

6. 吹田地区事業場安全衛生委員会（4月24日）

メールにて事前報告済

7. 核物理研究センター安全衛生委員会（4月24日）

メールにて事前報告済

8. 環境安全委員会（4月14日）

メールにて事前報告済

9. 原子力研究・安全委員会放射線安全管理部会（4月14日）

メールにて事前報告済

10. 放射線安全委員会（5月8日）

メールにて事前報告済

11. その他

(1) いちよう祭施設公開の実施報告について

メールにて事前報告済

(2) 外国人若手研究者の受入れについて

外国人若手研究者1名の受入れについて報告があった。なお、受入れ期間の始期は6月8日に変更となる旨説明があった。

II. 前回教授会議事録（案）について

平成26年4月15日（火）開催の教授会議事録（案）について、意見があれば本日までに連絡することとした。（同日までに連絡はなく原案のとおり確定した。）

III. 協議事項

1. 核物理研究センター若手研究者受入制度に係る覚書の一部改定について

資料1に基づき、若手研究者受入制度に係る覚書の改定内容について説明があり、審議の結果承認された。

2. 平成26年度協同研究員の受入れについて（追加）

各グループの責任者から、資料2に基づいて協同研究員2名の追加、新しいプロジェクト2件の提案、メンバーの組み替え等について説明があり、審議の結果承認された。

3. リサーチ・アシスタントの受入れについて

リサーチ・アシスタント候補者の選考経過について説明があり、審議の結果、標準RA4名、標準+特別RA4名の受入れが承認された。

4. 計算機室員等の追加について

計算機室員に技術補佐員1名を、図書委員（補助）に教務補佐員1名を追加することについて提案があり、異議なく承認された。

5. 甲南大学との共同研究協定について

スライド資料により、甲南大学と共同研究協定を締結しようとするに至った経緯、協定の概要について説明があった。協定書の内容についてはセンター長一任とすることで承認された。

6. 教員人事について

特任助教（常勤）候補者の審議経過について説明があり、資料3に基づき検討の結果、投票により同候補者が選出された。

引き続き、4月15日限り退職の特任助教（常勤）の後任人事について、資料4に基づき公募内容の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

7. その他

(1) 本日、特任助教（常勤）候補者として選出された 特任研究員の後任人事について、平成26年3月実施の特任研究員の選考結果が有効であるため、次点の者に打診するが、その結果辞退された場合には、新たに公募を実施することとし、実験系に限定して募集することが承認された。

(2) ゴミの出し方について

一般ゴミの出し方について昨年度からの変更点と経緯について説明があり、今後は研究室のゴミは共有スペースに設置する大型のゴミ箱に各自で捨てていただくよう協力依頼があった。

なお、特に本館以外の建屋においてゴミの集積場所が分かりにくいとの意見があったため、周知することとした。

(3) 一時来訪者の一般区域建屋出入り管理について

一時来訪者の一般区域建屋出入り管理ポリシーについて、次のとおり説明があった。

①研究会、スクール等での一時来訪者について休日夜間の対応

主催者が解錠をセンター長に申し出る。

決められた時間の解錠と施錠は主催者の責任とする。

主催者は事前に教職員へ周知する。

②滞在型研究会や共同利用実験以外の共同研究での来訪者の対応

受入職員（核物理研究センター専任の教職員）が責任を持って庶務係よりIDカードの貸与を受け、回収する。（少人数を想定）